

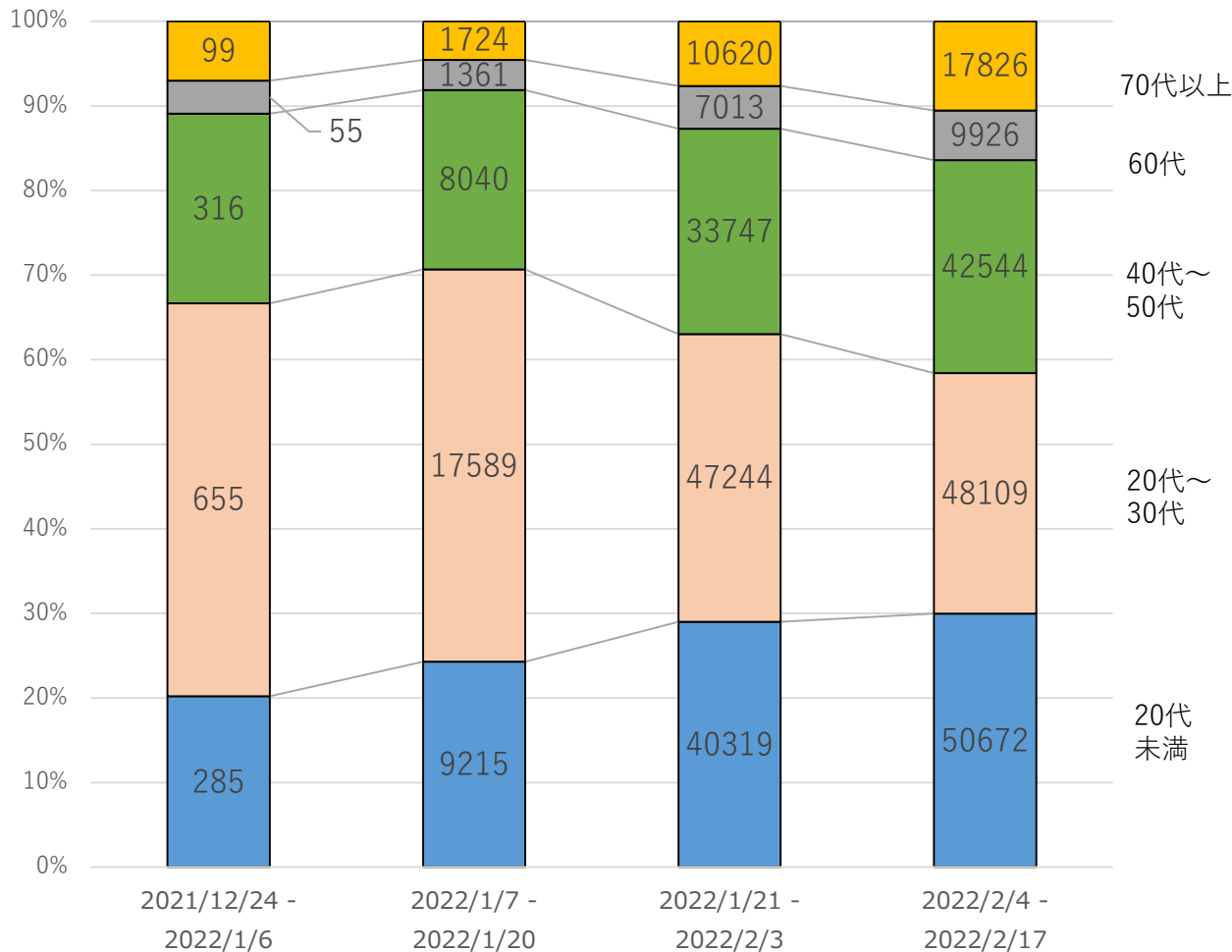
- 1 新規陽性者・入院患者等に占める高齢者の割合 P 2 ~ 8
- 2 高齢者施設等のクラスターの状況 P 9 ~ 12

1 新規陽性者・入院患者等に占める 高齢者の割合

年代別新規陽性者数の推移

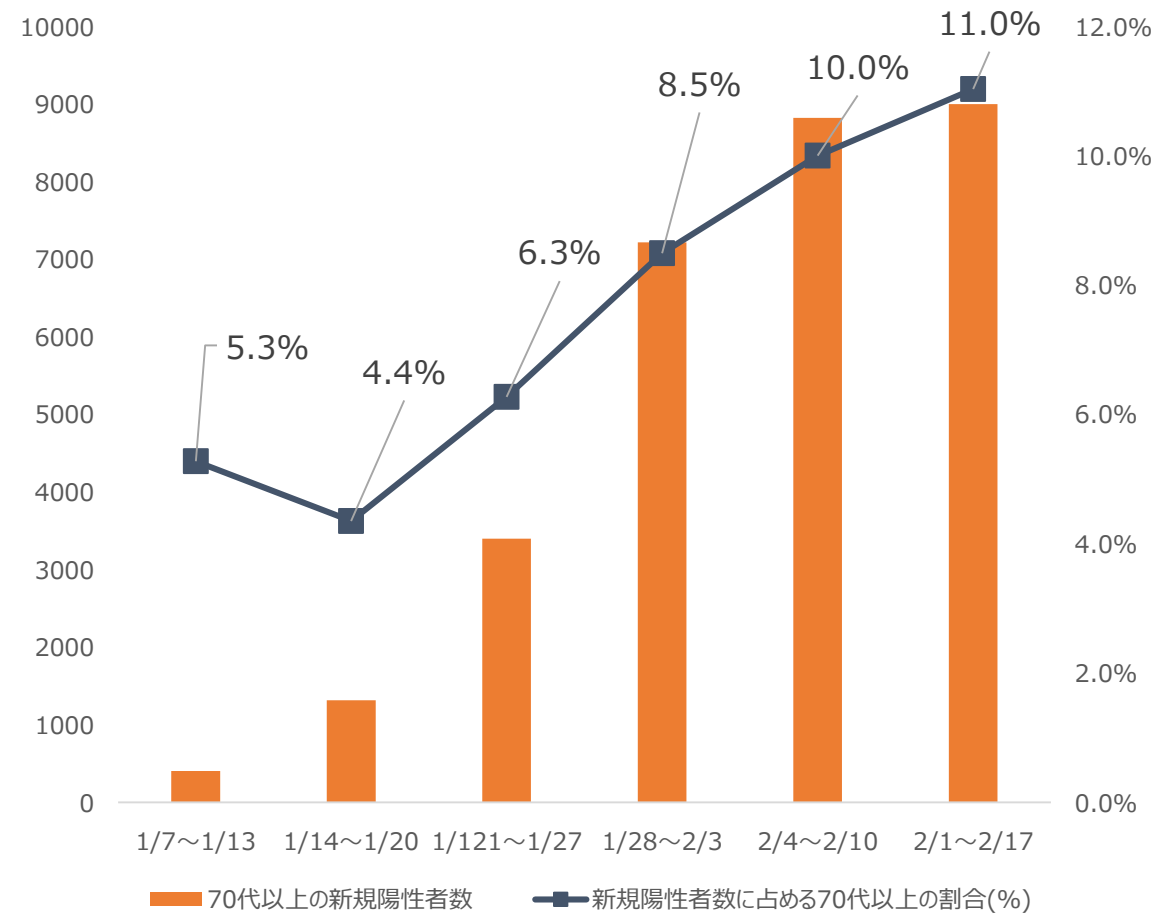
◆ 1月中旬以降、70代以上の陽性者数が増加し、陽性者数に占める割合が増加。直近2週間では1割以上を占めている。

■ 第六波の新規陽性者の年齢区（割合、2週間単位）



※調査中982件を除く

70代以上の新規陽性者数と
新規陽性者数に占める70代以上の割合

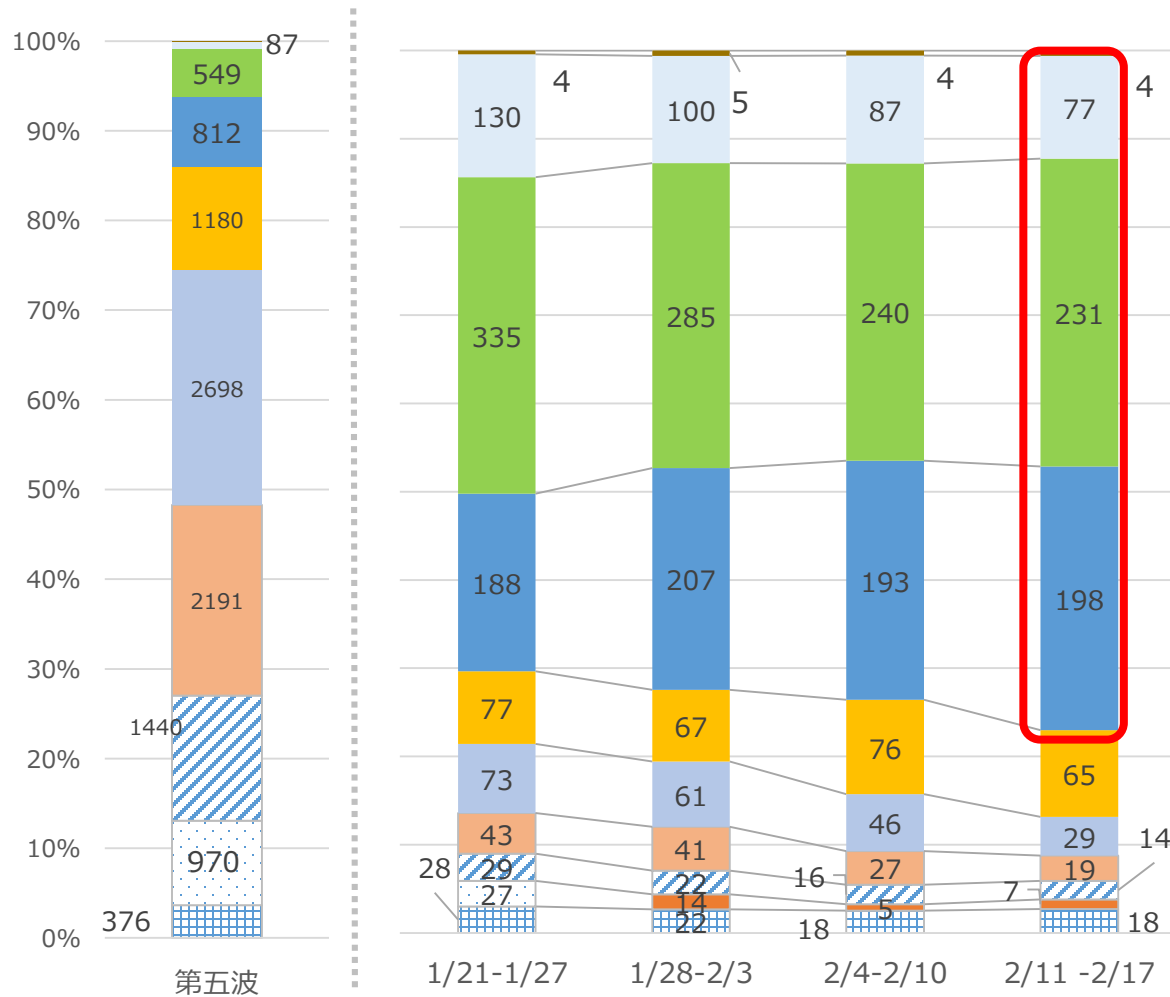


※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

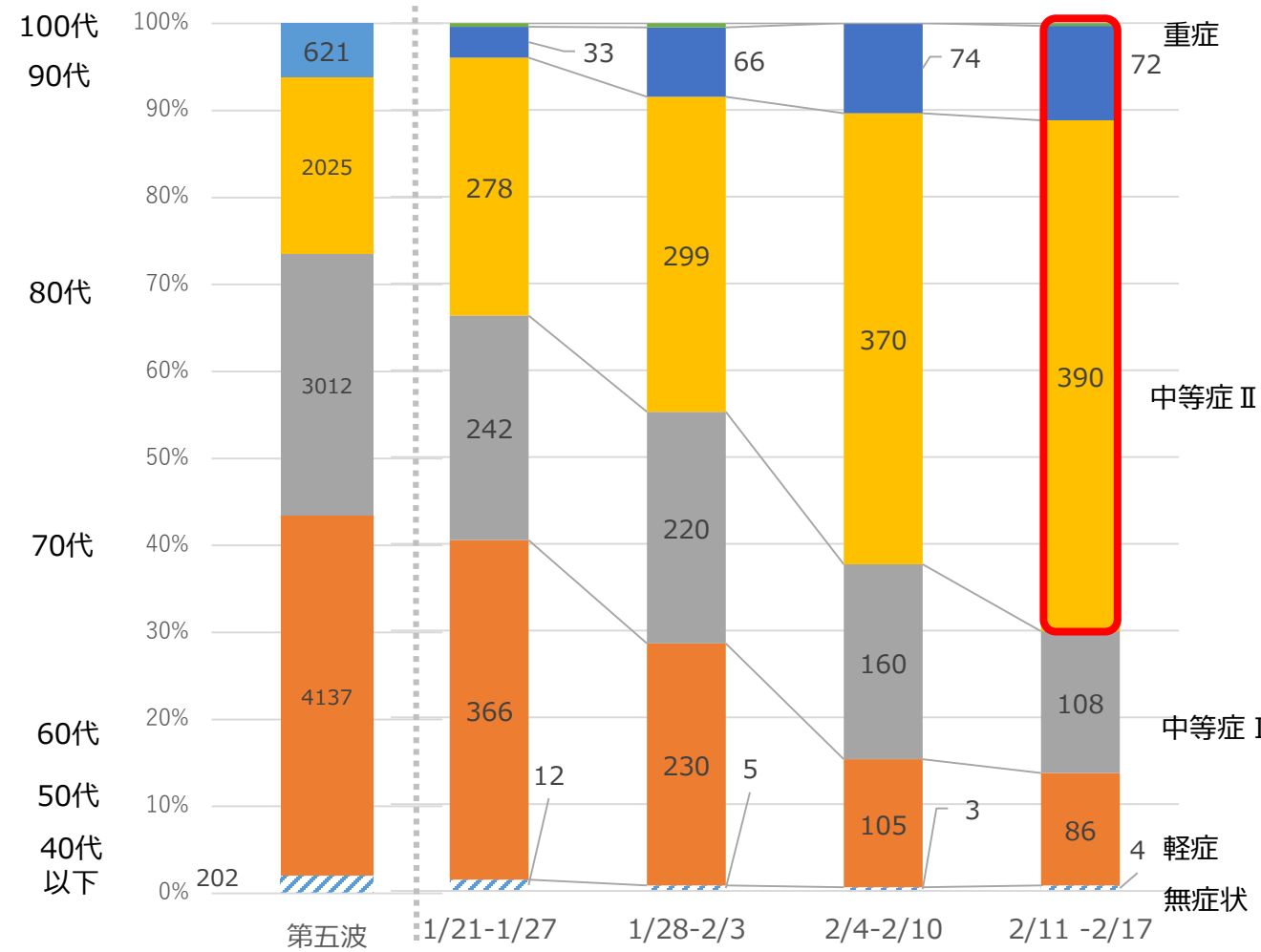
入院調整時の入院患者の年代割合や症状

- ◆ 入院調整時の入院患者の直近1週間の年代割合は、70代以上が約8割を占めている。
- ◆ 症状としては、中等症Ⅱ以上が約7割を占めている。

入院調整時の入院患者の年代別割合（第五波、1/21～2/17）



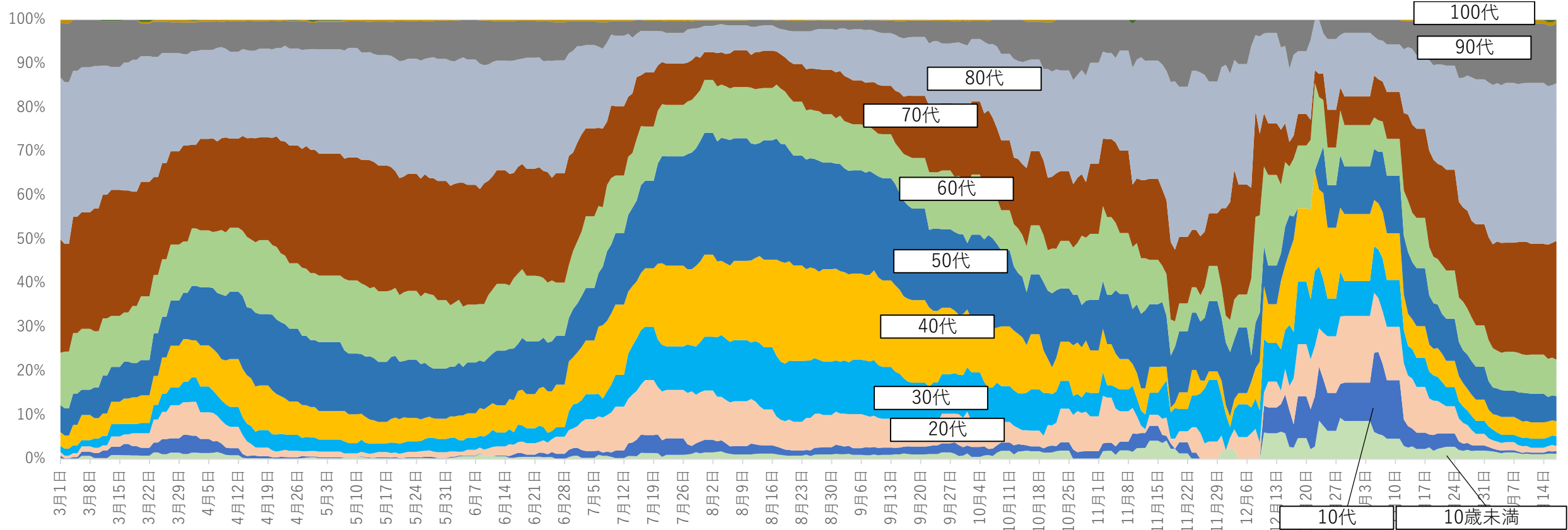
入院調整時の入院患者の症状（第五波、1/21～2/17）



※症状は入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。

軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（2月17日時点）

◆ 2月17日時点で、60代以上は85.1%、うち70代以上は約8割。
医療提供体制が極めてひっ迫していた第四波と比較し、第六波は高齢者の入院患者の割合が多い。



	第四波(5/12)	第五波(9/2)	2/17
60代未満	23.3%	66.3%	14.3%
60代以上	76.7%	33.7%	85.6%
(うち、70代以上)	(60.4%)	(23.0%)	(77.3%)

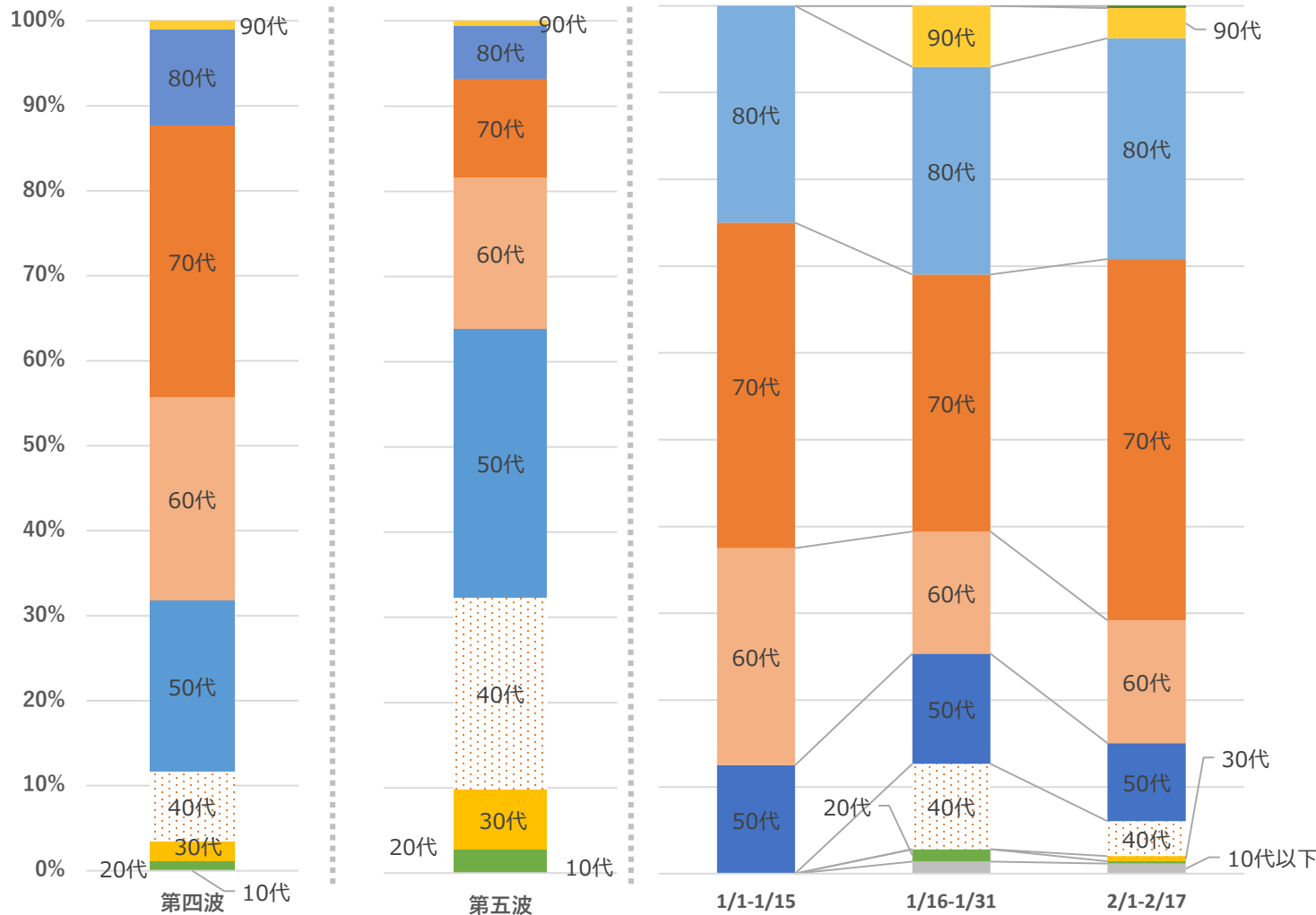
※ 1月5日に患者の全員入院対応、1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

第四波、第五波は、最低入院率となった日

年代別新規重症者の内訳（公表日別）（2月17日時点）

◆ 新規重症者の年代別内訳は、第六波では70代以上が占める割合が約7割と、第四波、第五波と比べて大きく増加。

年代別新規重症者の内訳割合（第四波、第五波、1/1～2/17）



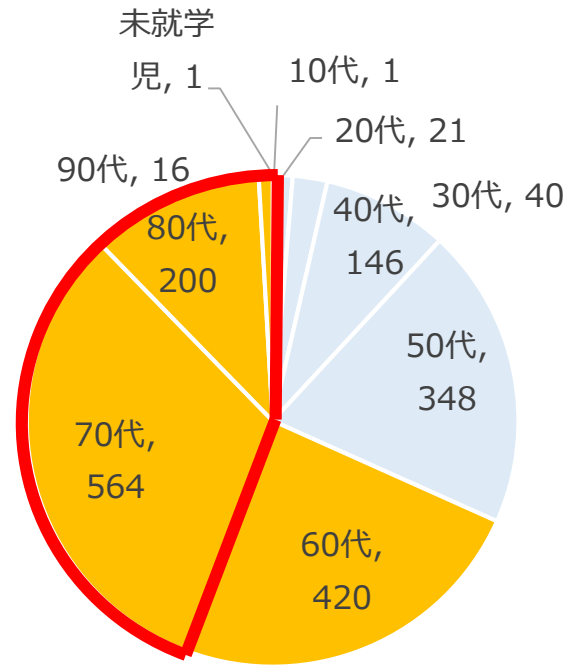
	第四波 (R3.3/1～ 6/20)	第五波 (R3.6/21～ 12/16)	第六波 (R3.12/17～)
新規陽性者数 累計	55,318人	100,891人	348,470人
新規重症者数	1,735人	1,024人	427人
30代以下	61人 (3.5%)	101人 (9.9%)	10人 (2.3%)
40・50代の 割合	491人 (28.3%)	553人 (54.0%)	63人 (14.8%)
60代以上の 割合	1,183人 (68.2%)	370人 (36.1%)	354人 (82.9%)
(うち、70代 以上の割合)	768人 (44.3%)	188人 (18.4%)	293人 (68.6%)

※新規重症者を公表日別に集計しているため、陽性判明日別に集計した各波の重症者数と人数が一致しない場合がある。
 ※第六波の各年代の割合は、2月17日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

重症者の年代別内訳（第四波～第六波）

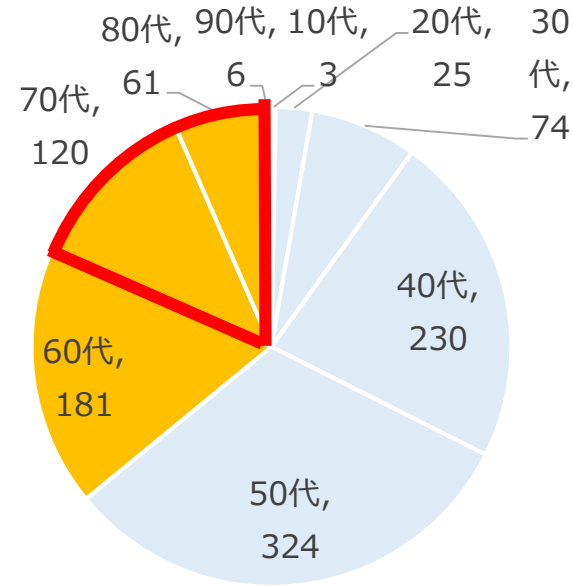
◆ 第六波においては、重症者に占める70代以上の割合が約7割に及び、第四波の4割強や第五波の2割弱に比べ、高い。

第四波



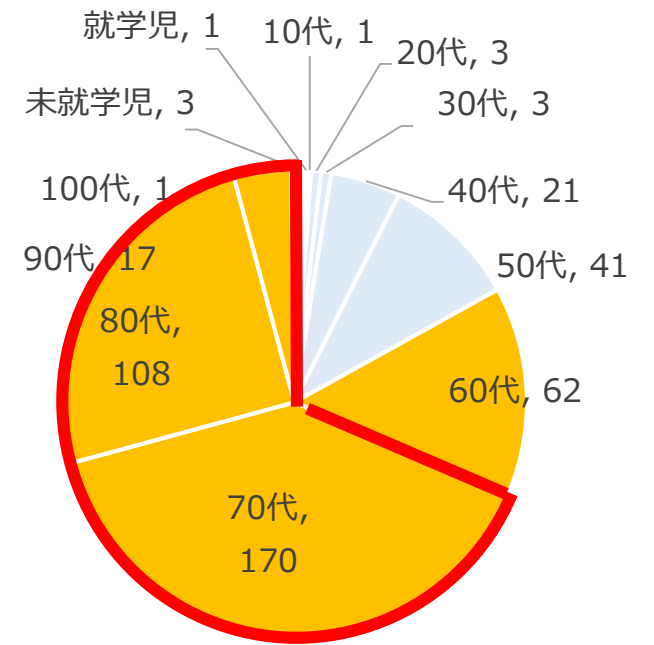
70代以上の割合：44.4%

第五波



70代以上の割合：18.3%

第六波

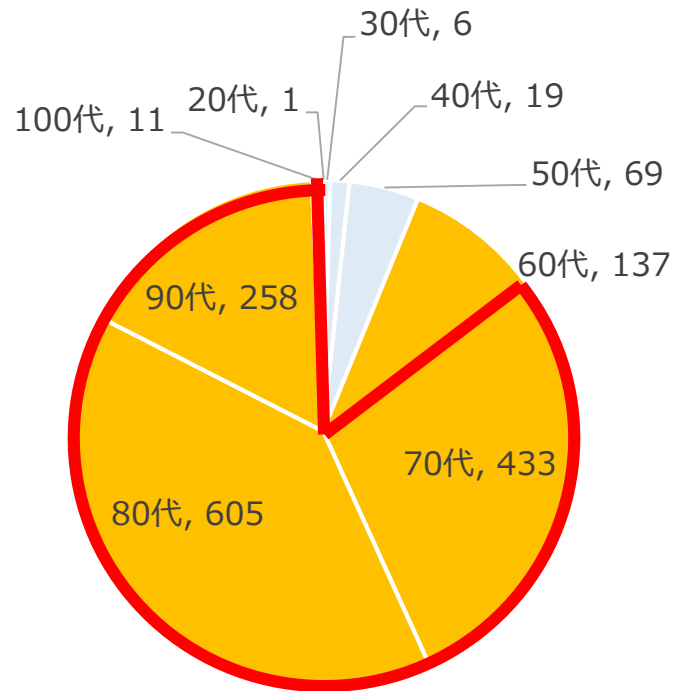


70代以上の割合：68.7%

死亡者の年代別内訳（第四波～第六波）

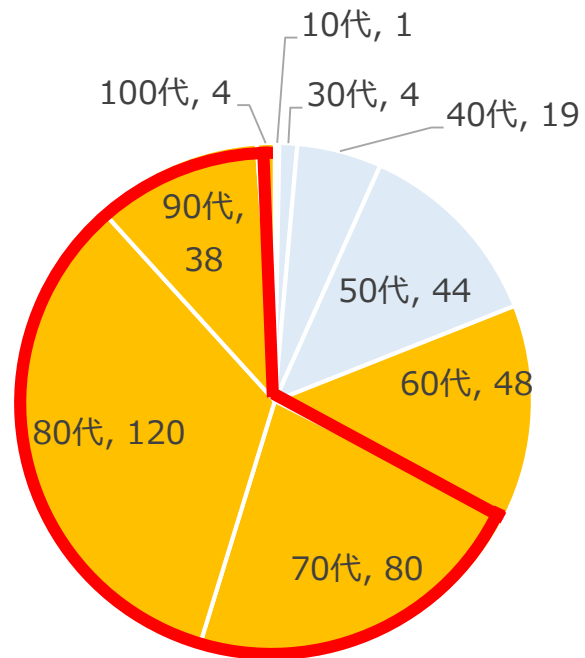
◆ 第六波においては、死亡者に占める70代以上の割合が9割を超過し、第四波の約8割強、第五波の7割弱に比べ、高い。

第四波



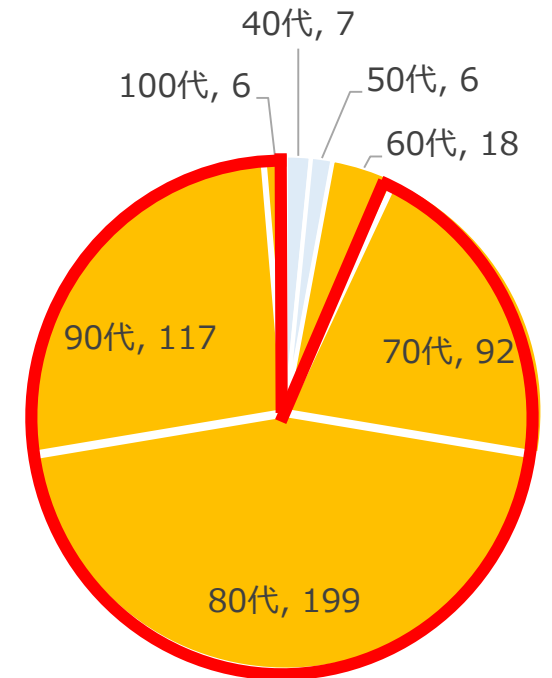
70代以上の割合：84.9%

第五波



70代以上の割合：67.6%

第六波



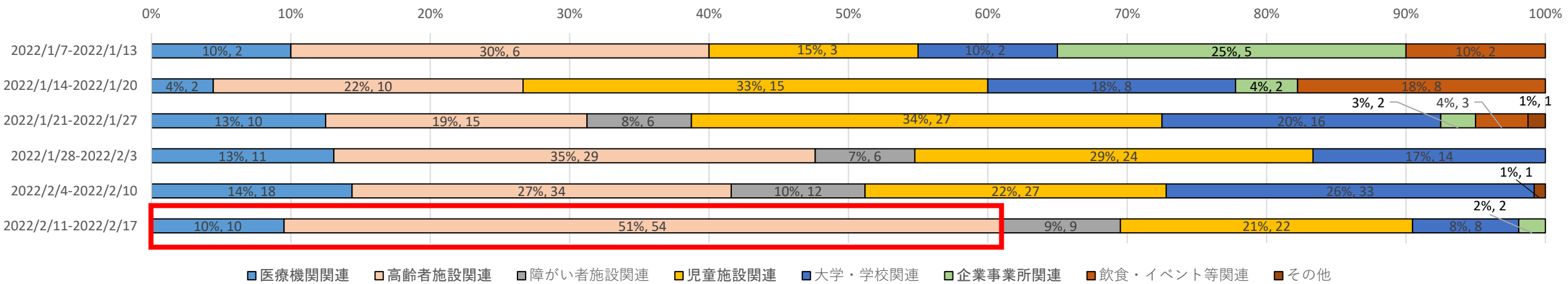
70代以上の割合：93.0%

2 高齢者施設等のクラスターの状況

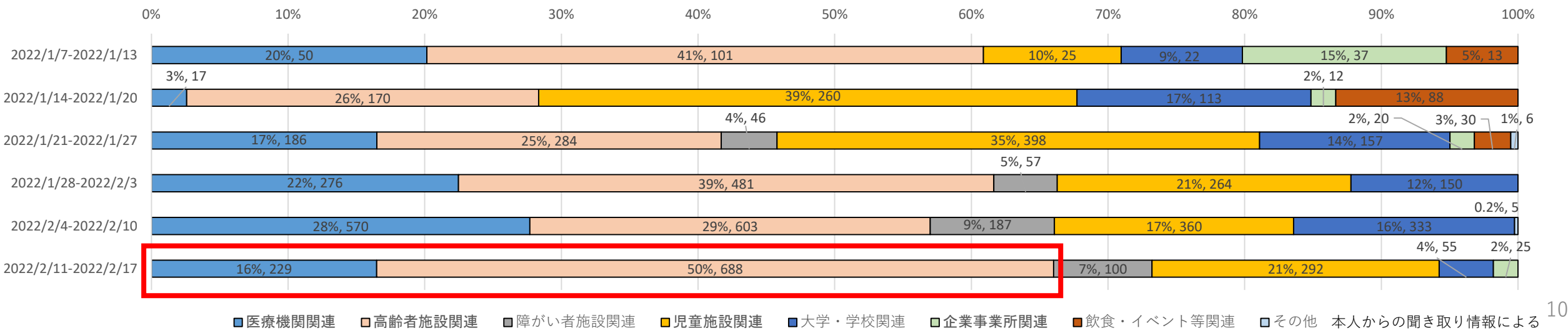
第六波のクラスター状況【割合】

◆ 直近1週間では、医療機関関連と高齢者施設関連が全体に占める割合が施設数、陽性者数ともに6割を超過。

施設数（割合）



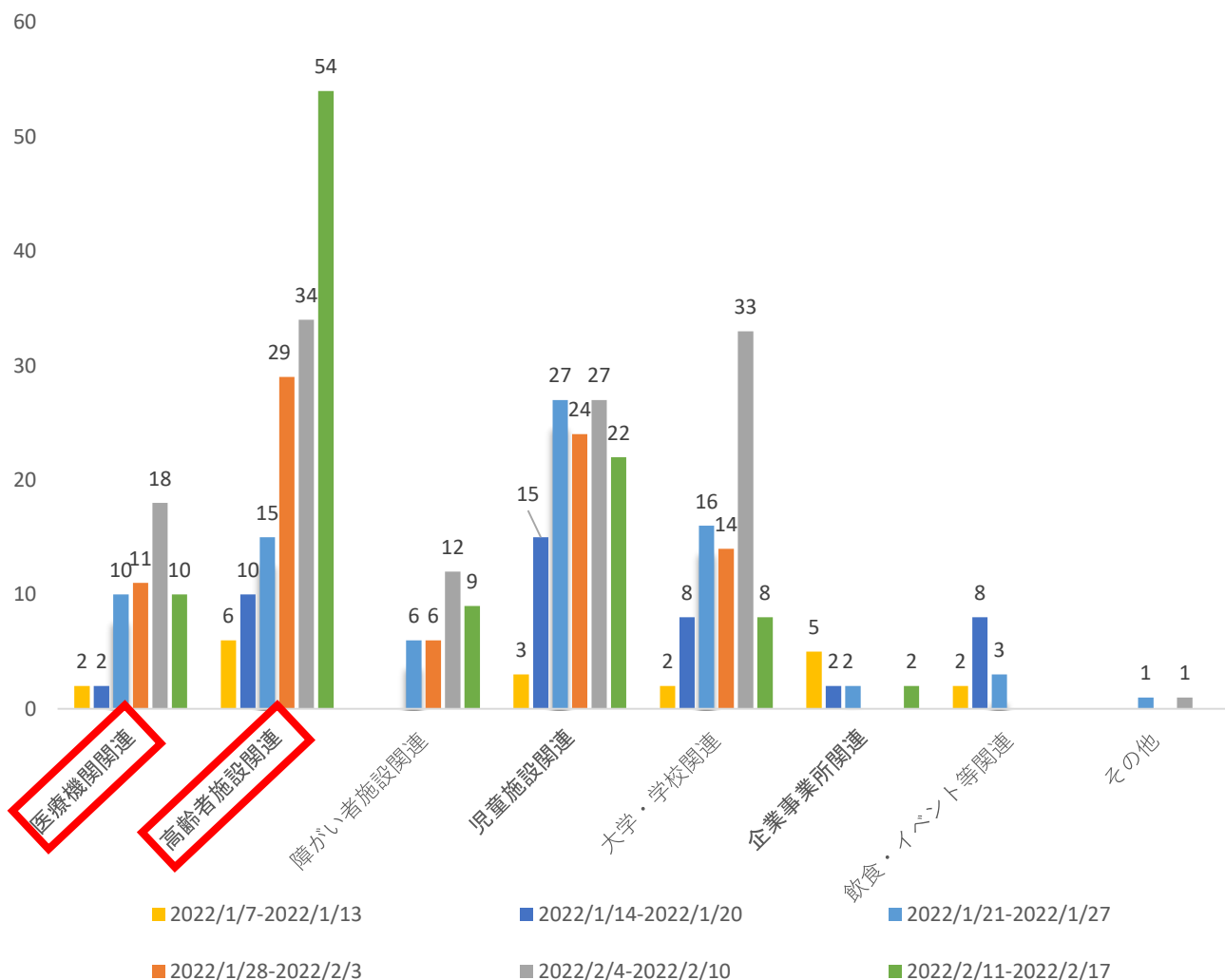
陽性者数（割合）



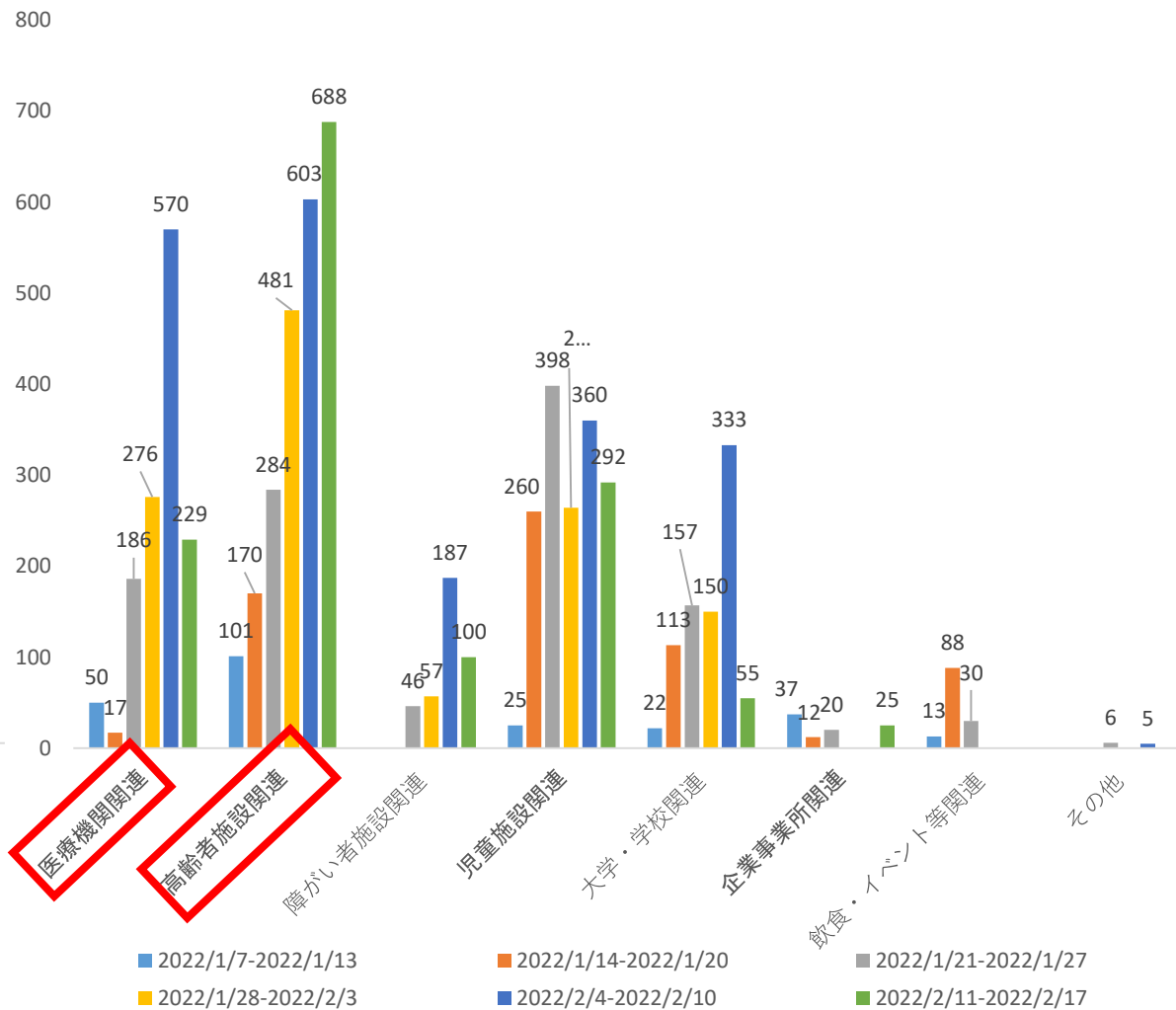
第六波のクラスター状況【実数】

◆ 1月では、医療機関関連で19件・369人、高齢者施設関連42件・758人。
 2月の17日間では、医療機関関連で35件・966人、高齢者施設関連107件・1,601人。

クラスターの施設数



クラスターの陽性者数



陽性者が複数発生している高齢者施設・障がい者施設（入所）での医療体制について

【令和4年2月17日時点】

陽性者が複数発生している施設数	426施設（うち保健所の健康観察 367施設）	
	うち連携医療機関のある施設	230施設
入所者における陽性者	3,125人	
	うち入院者数	349人
	うち施設内療養者数	2,776人

施設数	医療支援		
426施設	医療介入があった施設		158施設
		連携医療機関での治療実施数（往診も含む）	87施設
		連携医療機関以外の往診あり	29施設
		連携医療機関、連携医療機関以外両方の往診あり	2施設
		確認中	40施設
	医療介入がなかった施設		
		治療の対象者がいない	76施設
保健所回答なし		192施設	

※ 2月17日時点 府内保健所に聞き取った内容であり、記入が不十分のものも含まれている。